「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善に向けて

山口県教育庁義務教育課　令和６年３月

　子どもたちが、授業における学習内容を、人生や社会の在り方と結び付けて深く理解し、これからの時代に求められる資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続けることができるようにするためには、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進することが求められています。

　このスライドでは、令和５年度に県の指定を受け、授業研究に取り組んだ各学校の実践事例を紹介しています。各学校のWebページが掲載されていますので、今後の全校体制での授業づくりの参考としてください。

○　授業力向上実践研究指定校（県）実践事例

令和５年度授業力向上実践研究指定校
萩市立椿東小学校
１１月１７日（金）
国語・算数・社会
山口市立川西中学校
９月２１日（木）
数学・社会・音楽
岩国市立灘中学校
１１月１４日（火）
数学・道徳・総合
下関市立東部中学校
１１月１５日（水）
数学・英語・音楽
山陽小野田市立高千帆小学校
１２月６日（水）
国語・算数・体育
光市立三輪小学校
１１月２２日（水）
国語・算数・道徳
周防大島町大島中学校
９月２２日（金）
理科・社会・英語

「学ぶ意義」～基礎的・汎用的能力を育む授業づくり～

岩国市立灘中学校

①取組の概要

研究主題「未来を見据え、主体的に生き抜く生徒の育成」のもと、生徒が予測不可能な未来社会を主体的に生き抜いていけるようにするために、すべての授業の根底にキャリア教育を据え、４つの基礎的・汎用的能力を育む授業改善に取り組んだ。

（１）４つの基礎的・汎用的能力を育む授業実践
- ４つの基礎的・汎用的能力の中でも、キャリアプランニング能力の中の「学ぶ意義」を重点項目として授業改善に取り組んだ。生徒が、今の学びを既習事項や将来につなげて考えたり、他の教科等につなげて考えたりすることができるよう、教員自身が様々なつながりを意識して授業を展開した。

（２）地域連携を取り入れた授業改善
- 「コミュニティ・スクール」とは何か、ということから全クラスで授業を行い、共通理解を図った。学校運営協議会の方々に授業に参加していただいたり、ご意見をいただいたりして授業改善を行った。

（３）家庭学習（自主学習ノート）の充実
- 授業の終わりに、家庭学習で取り組むと効果的な内容についてアドバイスをしたり、終学活で、その日に家庭で学習するとよいと思うことについて生活日記に記入させたりすることで、家庭学習に主体的に取り組めるようにした。

（４）やまぐち学習支援プログラムやAIドリルの活用
（５）ICTの効果的な活用
（６）授業アンケートの見直し

②公開授業の紹介【11月14日(火)公開】

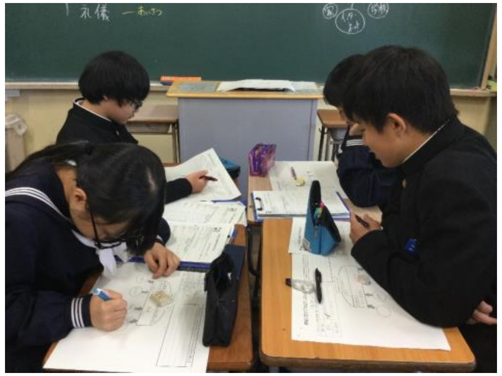
●本時を通して身に付けさせたい基礎的・汎用的能力
（１）「課題対応能力（情報の理解・選択・処理）」
（２）「キャリアプランニング能力（学ぶ意義）」

教科名:道徳科

学年:1年3組

教材名:あったほうがいい?

本時の内容:身近なゴミ問題について、ゴミ箱設置の是非や問題解決のために必要な考え方に着目して話し合うことで、一人ひとりが他者意識をもって行動することの必要性に気付き、社会全体の利益のために尽くす公共の精神について深く考え、よりよい社会の実現に努めようとする態度を育む。



教科等名:総合的な学習の時間

学年:2年1組

単元名:未来の自分のために今できることは?～探究!自己の生き方と働くこと～

本時の内容:「将来、働く上で必要な資質・能力」を身に付けるための行動目標を考える活動を通して、実生活の様々な場面に成長するきっかけがあることに気付き、今の自分が取り組むべきことについての理解を深める。

教科名:数学科

学年:3年3組

単元名:図形と相似

本時の内容:相似比と面積の比の関係を使って、どちらのピザが割安になるのかについて根拠を明らかにして伝え合う活動を通して、実生活で数学が生かされていることを実感し、具体的な場面で数学を活用しようとする態度を養う。

③Webページアドレス https://www.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/site/nada-j/index-2.html

目的に応じたICTのベストな活用による授業改善
～自己調整力の育成・協同学習・個別最適化～　周防大島町立大島中学校

①取組の概要

「ICTの効果的な活用による主体的・対話的で深い学びの実現をめざした授業改善」～ 自己調整力の育成 ・ 協同学習 ・ 個別最適化 ～ という研修主題のもと、管理職、養護教諭、栄養教諭を含めた全教職員の研究授業、やまぐちっ子学習プリントとAIドリルを活用した朝学習、各教科等の特性に応じた振り返り活動の充実を重点目標とし、全校体制で取り組みました。その際、授業等の学習場面におけるICTのベストな活用方法について検討しながら研究を進めていきました。

②公開授業の紹介【9月22日（金）公開】

教科名：理科　学年：1年1組
単元名：水溶液の濃度の特定
本時の内容：未知の水溶液の質量パーセント濃度を求める活動を通して、妥当性のある方法を計画し、検証する。

教科名：英語科　学年：2年1組
単元名：チャット（雑談）をしよう
本時の内容：聞き手と話し手に配慮しながら、親睦チャット（雑談）を行い、互いに事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合う。

教科名：社会科　学年：3年1組
単元名：現代の民主政治
本時の内容：政治と民主主義について、民主主義を批判的に捉え、複数の政治体制のメリットやデメリットについて考察する。

③Webページアドレス http://www.sea.icn-tv.ne.jp/~oshimajh/

確かな学力を身に付ける子どもの育成
～ 学び合いを核とした授業づくり ～　　光市立三輪小学校

①取組の概要

確かな学力を身に付けるために、互いの意見を伝え合い、互いの考えを高めていくことができる「学び合い」を核として授業づくりに取り組んできました。また、その学び合いを支える取組としての朝学や学び合いの質を引き上げるための振り返りにも力を入れ研究を進めました。

②公開授業の紹介【11月22日（水）公開】

教科名：国語科　学年：第1学年

単元名：じどう車ずかんをつくろうーじどう車くらべー

本時の内容：はしご車の「しごと」と「つくり」を見つけ、どの「つくり」をどんな順番で書くとよいかを話し合い、文章に表す方法を知る。

教科名：道徳科　学年：第6学年

教材名：手品師

本時の内容：手品師の葛藤や行動について話し合い、手品師の誠実さに触れることで、自分に誠実に行動し、明るい生活をしようとする心情を育てる。

教科名：算数科　学年：第4学年

単元名：　がい数とその計算

本時の内容：具体的な買い物の場面で概算の方法を話し合い、目的に合った数の処理の仕方を理解する。

③Webページアドレス　http://miwasyougakkou.jimdofree.com

「ICTを活用した『知る・考える・わかる』楽しさを実感できる授業づくり」

山口市立川西中学校

①取組の概要

やまぐち学習支援プログラムとICTの活用について、学校全体や各教科等で効果的に活用できるように授業改善に取り組みました。朝学習や授業後の復習教材、既習内容の確認としてやまぐち学習支援プログラムを活用、ICTの効果的な活用による主体的に学習に取り組む態度の育成、小中連携でICTを活用できる生徒の育成の3点を重点取組事項として、研究を進めました。

②公開授業の紹介【9月21日（木）公開】

教科名：数学科　学年：1年3組

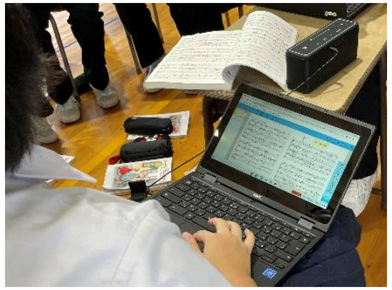
単元名：方程式の解き方

本時の内容：方程式の解き方の誤りを説明する活動を通して、既習の方程式の解き方を振り返るとともに、自分の解き方を改善することができる。

教科名：音楽科　学年：3年2組

単元名：歌詞の内容にふさわしい表現を工夫しよう

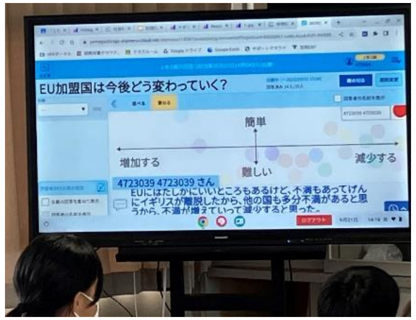
本時の内容：旋律と和声の流れが同じような部分を取り上げて、強弱記号と歌詞の内容との関わりを捉えて、それぞれの部分にふさわしい歌唱表現の工夫を考える。



教科名：社会科（地理的分野）　学年：1年2組

単元名：ヨーロッパ州　EUが抱える課題

本時の内容：イギリスがEUから離脱したことを知り、EU加盟国の今後の変化について議論することを通して、国同士が結びつくことの経済的観点以外の価値に気づく。



③Webページアドレス　https://www.fureai-cloud.jp/kawanishi-j/

主体的に学び続ける子どもの育成

山陽小野田市立高千帆小学校

①取組の概要

１　本年度の研究主題

▶主体的に学び続ける子どもの育成
▶深い学びの実現をめざした学習過程の工夫及び
学習評価の研究を通して

昨年度までは、国語科に絞って研究をしてきた。今年度は、昨年度までの成果を他教科に転移させることをねらいとして研究主題は継続して研究を行った。

４　研究の具体

①単元計画シートの作成　（教師視点）
②本時案の構想
③ICTの効果的な活用

単元計画シートを作成することで、評価規準や評価方法を明確化し、単元のゴールを見据えて学習過程を工夫することができた。

２　研修の視点

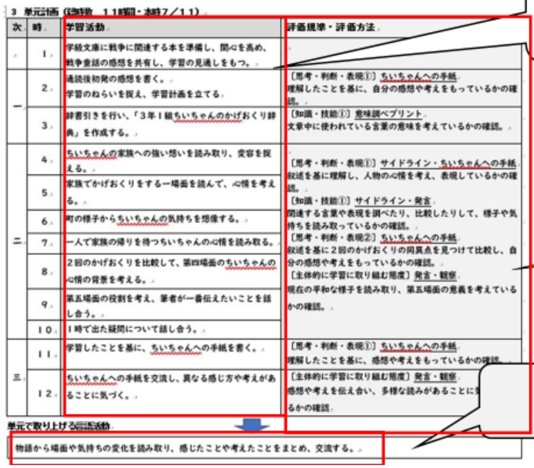
１　見通しをもって学習指導を行うための
単元計画シートの活用

２　バックワードデザインでの本時案構想
・「努力を要する」状況（C）への手立て
・教師が求める理想の振り返り（具体的な児童の姿）
・「めざす児童像」と「手立て」

３　学習におけるICTの効果的な活用方法について検討

３つの研究の視点をもとに研究を行った。１や２については昨年度までの研究の成果として得たものを継続した。

①単元計画シート



３　単元計画（総時数　１１時間・本時７／１１）

次	時	学習活動	評価規準・評価方法
	１	学級文庫に戦争に関連する本を準備し、関心を高め、戦争童話の感想を共有し、学習の見通しをもつ。	
一	２	通読後初発の感想を書く。 学習のねらいを捉え、学習計画を立てる。	〔思考・判断・表現①〕ちいちゃんへの手紙 理解したことを基に、自分の感想や考えをもっているかの確認。
	３	辞書引きを行い、「３年１組ちいちゃんのかげおくり辞典」を作成する。	〔知識・技能①〕意味調べプリント 文章中に使われている言葉の意味を考えているかの確認。
二	４	ちいちゃんの家族への強い想いを読み取り、変容を捉える。	〔思考・判断・表現①〕サイドライン・ちいちゃんへの手紙 叙述を基に理解し、人物の心情を考え、表現しているかの確認。 〔知識・技能①〕サイドライン・発言 関連する言葉や表現を調べたり、比較したりして、様子や気持ちを読み取っているかの確認。 〔思考・判断・表現②〕ちいちゃんへの手紙 叙述を基に２回のかげおくりの同異点を見つけて比較し、自分の感想や考えをもっているかの確認。 〔主体的に学習に取り組む態度〕発言・観察 現在の平和な様子を読み取り、第五場面の意義を考えているかの確認。
	５	家族でかげおくりをする一場面を読んで、心情を考える。	
	６	町の様子からちいちゃんの気持ちを想像する。	
	７	一人で家族の帰りを待つちいちゃんの心情を読み取る。	
	８	２回のかげおくりを比較して、第四場面のちいちゃんの心情の背景を考える。	
	９	第五場面の役割を考え、筆者が一番伝えたいことを話し合う。	
	１０	１時で出た疑問について話し合う。	
三	１１	学習したことを基に、ちいちゃんへの手紙を書く。	〔思考・判断・表現①〕ちいちゃんへの手紙 理解したことを基に、感想や考えをもっているかの確認。
	１２	ちいちゃんへの手紙を交流し、異なる感じ方や考えがあることに気づく。	〔主体的に学習に取り組む態度〕発言・観察 感想や考えを伝え合い、多様な読みがあることに気づいているかの確認。

単元で取り上げる言語活動

物語から場面や気持ちの変化を読み取り、感じたことや考えたことをまとめ、交流する。

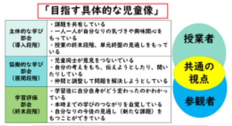
毎時間の主眼（教師視点）を記入。
各時間の学習課題が単元全体の学習課題にしっかり結び付いているか確認する。

評価規準と評価方法を記すことで、単元のどの場面で評価を行うのか見通しをもてるようにする。

単元全体の学習課題の明確化

３　研究組織

全職員が協働して



低学年ブロック　算数科
中学年ブロック　国語科
高学年ブロック　体育科

主体的な学び部会　｜　協働的な学び部会　｜　学習評価部会

低・中・高の３ブロックに分かれ、教科を決めて研究を行った。また授業を導入・展開・終末の３つの段階に分け、主体的な学び部会、協働的な学び部会、学習評価部会の３部会も設け、協働的な研究をめざした。

一人一授業　振り返りシートの活用

「一人一授業」の実践を全体で共有し、広める。

個々の授業改善にいかす。

一人一授業として、全職員による公開授業を行った。互いに参観し合い、授業改善に努めることができた。

主体的に学び続ける子どもの育成

山陽小野田市立高千帆小学校

②公開授業の紹介【12月6日（水）公開】

教科名：算数科

学年：1年3組

単元名：かたちづくり

本時の内容

色板を操作することを通して、並べ方を工夫し影絵の形を構成する。

授業者の振り返り・参加者の意見

○ICT機器を活用し、児童の考えを視覚化し共有することができた。
○自分の考えを、つなぎ言葉を使って順序立てて説明できていた。発表を聞く児童も雰囲気が温かかった。
○影絵の形を構成するために必要な色板の枚数が8か9か、話し合いが盛り上がった。自分の考えを友達に伝えたいという思いに溢れていて、主体的な学びにつながる適度な難易度だった。

教科名：体育科

学年：5年3組

単元名：マット運動

本時の内容

自己の課題に応じた場を選択し、友達と話し合いながら練習することを通して、技の習得に向けて質を高める。

授業者の振り返り・参加者の意見

○音楽をかけながら楽しい雰囲気の中授業が行われ、技の練習に前向きに取り組み、成功させたいという思いがクラス全体で醸成されていた。
○活動前に自己の課題や技のポイントなどについて言語化することで、意識が高まっていた。アドバイスの視点を明確にしておくと、グループでの教え合いが活発化したかもしれない。

教科名：国語科

学年：4年3組

単元名：プラタナスの木

本時の内容

場面の移り変わりについて話し合う活動を通して、叙述をもとに登場人物の変化や出来事の関係を捉える。

授業者の振り返り・参加者の意見

○教科書の叙述に基づいて自分の考えをもつことができていた。
○読みを深めたり広げたりするために、児童と児童の発言をつなぐ工夫や、切り返しや揺さぶりの発問が効果的にされていた。
○ICT機器を活用し、毎時間の振り返りを蓄積していた。それが単元のゴールの言語活動に結び付くようになっていた。

研究協議で使用した振り返りシート

⬇

③Webページアドレス https://sites.google.com/edu.cty-so.jp/takachiho/

「学びが好きな生徒の育成」
～基礎・基本の定着と学ぶ力を高める指導の工夫～　下関市立東部中学校

①取組の概要

「ICTの活用」と「振り返りの充実」を重点目標に全教職員で研修を進めました。授業づくりのひらめきにつながる「ふらっと参観」や校内研修を通して、各教科における「ICTの活用」と「振り返り」の事例を共有しました。

○「ICTの活用」事例…既習事項の復習、調べ学習、意見共有の場での活用

○「振り返り」事例…学びの文章化、GoogleFormsを活用した振り返りの共有（生徒間）

②公開授業の紹介【11月15日（水）公開】

教科名：音楽科　学年：2年4組

単元名：交響曲第5番「運命」

本時のめあて：曲の魅力を伝え合おう。
曲の批評文を書いてみよう。

ICTの活用と振り返り

・班で意見を出し合い、班の意見をロイロノートにまとめる。

・意見交換を参考にして、自分で批評文にまとめる。

・GoogleFormsで振り返りを行う。

教科名：数学科　学年：2年3組

単元名：図形の性質と証明

本時のめあて：角の二等分線がいつでも元の角を二等分することを三角形の合同を使って証明しよう。

ICTの活用と振り返り

・GeoGebraを使って、角の大きさを操作する。

・GoogleFormsで振り返りを行う。その場で即時フィードバックする。

教科名：英語科　学年：2年5組

単元名：Unit5 Read and Think2

本時のめあて：ロナルド・メイスについて説明し、ユニバーサルデザインが大切な理由を伝えよう。

ICTの活用と振り返り

・ロイロノートを使って基本文の練習をする。

・スライドを見ながら、ロナルド・メイスについて整理する。

・工夫したところや課題を文章で振り返る。

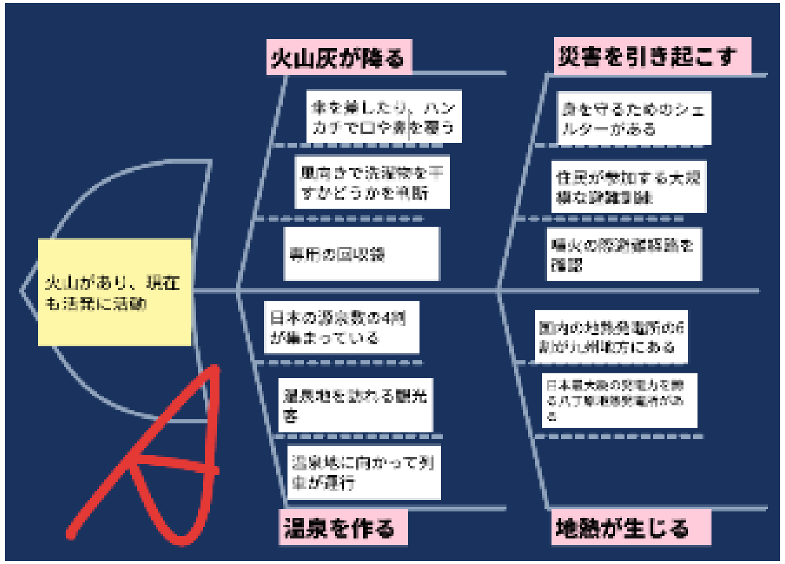
③Webページアドレス

https://shimomachi-plus.jp/schoolTop?articleId=61fcfbd75cf98300550eb300&orgId=514311

○「ICTの活用」例

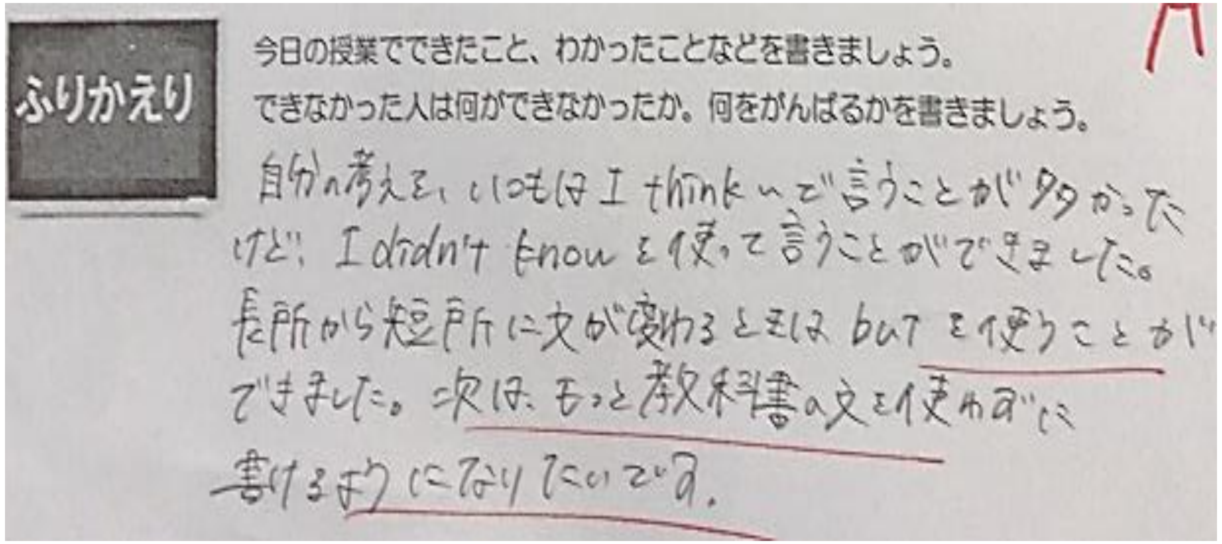
【英語科・音読チェック】

【社会科・課題の整理作業】



○「振り返り」例

【文章による振り返り】



【GoogleFormsを使った振り返り】

4	文字に代入するとき符号を間違えないようにする。	文字を使うと簡単に解くことができる。
4	先に計算してから代入する！	途中式を書かないと間違いが多くなるので，慣れたら途中式なしで頑張ろうと思いました。
4	式に文字を代入する時に式が長い時にそのまま代入せず式を簡単にしてから代入する	代入する時に符号に気をつけて間違えず代入ができた
4	プラマイの符号をしっかり見ること。	どんな式でも途中式は大切だと思った。

各教科の「見方・考え方」を働かせる授業づくりを目指して

萩市立椿東小学校

①取組の概要

各教科の「見方・考え方」を働かせる授業づくりに向けて、教職員間で共通理解を図りながら、授業中のどんな支援が見方・考え方に繋がっているかを共有しました。また、共有した内容をもとに授業づくりの基盤である「椿東小スタンダード」を作成・実践しています。振り返りについては、子どもたちが学びを実感できるように、発達段階に応じて振り返りの視点を提示しました。

②公開授業の紹介【11月17日（金）公開】

教科名：国語科　学年：6年2組

単元名：やまなし

本時の内容：叙述をもとに、「五月」と「十二月」の様子などを比較したり、宮沢賢治の生き方や考え方を関連付けたりする活動を通して、題名が「やまなし」である理由を明らかにして、まとめることができる。

教科名：社会科　学年：4年2組

単元名：自然災害からくらしを守る

本時の内容：家庭での「風水害からくらしを守る備え」について考える活動を通して、家庭でできることはたくさんあることや、住んでいる場所によって備えに違いがあることに気付くことができる。

教科名：算数科　学年：2年2組

単元名：九九のひょう

本時の内容：九九の表について考察する活動を通して、乗数、被乗数、積の関係に着目し、乗法の性質について理解することができる。

③Webページアドレス https://sites.google.com/edu.city.hagi.lg.jp/chinto